

製造業



金属3Dプリンタ活用によるDXの推進



「金属3Dプリンタ+CAE(シミュレーション)」によるモノづくりで大きな成果

背景・課題

誘導加熱において加熱コイルは品質・コストの両面より重要なアイテムです。加熱コイルは従来ろう付けで製作していましたが、ろう付け箇所からの破損が頻発していました。また、ろう付け作業は熟練を要する作業で作業者の育成に多くの労力と時間が必要です。これを金属3Dプリンタで一体造形できないかと取り組みました。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

加熱コイルの寿命が、従来のろう付けコイルの寿命の5~10倍と飛躍的に向上できました。これによりコイルの使用量が大幅に削減でき銅材の使用量が減少する為、カーボンニュートラルへの貢献ができています。また、製作工期が従来の1/3に短縮できました。CAEと組み合わせることで最適な設計ができ、それを3Dプリンタで具現化しています。設計の自由度は無限大です。受託加工承ります。



ティーケーエンジニアリング株式会社

代表取締役社長 下村 豊

本社 愛知県弥富市楠三丁目13番地2

